

総合的な学習の時間（第3学年）

テーマ【 環境学習 ～里山再生プロジェクト～ 】

四條畷市立田原中学校

《学習のねらい》

- ・身近な自然環境や生活環境に関心を持つとともに、環境学習を通じて、地球規模の環境問題に目を向ける。
- ・竹の伐採活動や植樹の意義を認識し、環境保全について考える。
- ・地球温暖化問題に関心を持ち、自分たちに何ができるか、何をしなければいけないかを考え、行動できる態度を養う。



《学習の流れ》

	学習活動の主な内容	指導のポイント
1	事前学習 ・今までの活動（1年生でのフィールドワーク、2年生でのバードウォッチング）を振り返り、田原の自然についての理解を深める。	■ 環境問題についての関心を高め、身近な自然・環境問題に目を向ける。
2	環境体験学習 ①竹の伐採（余分な竹を伐採し、光が均等に届くようにする） ②さくらの植樹（苗木を植える） ③さつきの剪定（ <small>せんてい</small> 植えられているさつきの形を整える） ④竹チップの散布（自然に返す目的で、山に散布する）	■ 作業を通して環境問題の実態を知り、自然を大切にしようとする意識を高める。
3	環境講話 ・地球温暖化や現在の環境問題についての講話を聴き、自然を守る大切さと難しさ、自分たちに今できること、これから何をしなければならぬかなどを学ぶ。	■ 現在の状況を知り、できることを考える。
4	環境学習の振り返り・まとめ ・感想等を新聞にまとめる。	



《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

環境講話：大阪府中部農と緑の総合事務所

事前作業と当日補助：四條畷ライオンズクラブ、ピオトープ田原里山の会、四條畷市産業観光課・建設課・生活環境課、四條畷市山守り隊（事前作業として、生徒が山に入る際に危険がないように点検し、除草・伐採を行うとともに、当日は、生徒が作業をする際の補助を行う）

《成果（生徒の感想より）》

- ・自然を守ることがいかに難しいかがよく分かった。
- ・樹を育てることがとても大切だと学んだ。たくさんの自然がある田原はすごくいいなと思った。
- ・樹や草を伐採することはいけないことだと思っていたが、間引きをすることで森全体が元気になることを知った。自分たちにできることを考えるよい機会になった。

